

『JVA 2026 年上半期(1月～6月) 統計調査結果』について

当協会はこのたび、2026 年上半期(1月～6月)の JVA 会員メーカーのビデオソフト出荷統計をまとめましたので、その概要につきお知らせいたします。

2026 年上半期(1月～6月)の実績について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 391 億 6,200 万円で前年同期比 92.6%となった。
フォーマット別にみると、DVD ビデオは 108 億 8,900 万円で前年同期比 80.8%、ブルーレイ(Ultra HD Blu-ray を含む。以下、ブルーレイと表記。)は 282 億 7,300 万円で同 98.0%となっており、DVD ビデオ、ブルーレイともに前年同期を下回る結果となった。DVD とブルーレイの構成比率をみると、ブルーレイの比率が 72.2%となっている。

＜添付資料 表 1＞

2. ビデオソフト全体(DVD ビデオとブルーレイの合計)の売上金額を販売用、レンタル店用の市場別にみると、販売用が 360 億 8,100 万円で前年同期比 91.5%、レンタル店用は 23 億 4,100 万円で同 97.5%となっており、販売用、レンタル店用ともに前年同期を下回る結果となった。販売用、特殊ルート、レンタル店用、業務用の売上金額における割合は、92.1 対 0.3 対 6.0 対 1.6 となっている。

＜添付資料 表 4＞

3. DVD ビデオの販売用売上金額は 91 億 9,200 万円で前年同期比 82.0%、ブルーレイの販売用は 268 億 8,900 万円で同 95.3%となっており、DVD ビデオ、ブルーレイともに前年同期を下回る結果となった。また、販売用全体に占めるブルーレイの割合は 74.5%となっている。

＜添付資料 表 5A＞

販売用全体の売上金額をジャンル別にみると、『音楽(邦楽)』が構成比 55.1%で第 1 位となった。同ジャンルは前年とほぼ同水準を維持しており、前年同期比は 95.9%と横ばいで推移した。構成比 14.2%で第 2 位の『日本のアニメーション(TV・OVA)』が前

年同期 73.1%と前年を大きく下回った。(日本のアニメ合計は構成比 19.8%となり、前年同期比は 78.4%と前年を大きく下回っている。) 構成比 7.3%で第 3 位の『日本の TV ドラマ』は前年同期比 88.6%と前年同期を大きく下回った。構成比 5.6%で第 4 位の『劇場版 日本のアニメーション』は同 96.6%と、前年同期と横ばいの結果となった。構成比第 1 位の『音楽 (邦楽)』では、『なにわ男子 LIVE TOUR 2025' BON BON VOYAGE'』や『We're timeless LIVE TOUR 2025-2026 episode 1 FAM DOME』等の作品が好調な売り上げで構成比拡大に貢献した。音楽ジャンルだけで販売用全体の半数を占めている。

<添付資料 表 7>

4. ブルーレイの販売用をジャンル別に見てみると、『音楽 (邦楽)』が構成比 55.2%で第 1 位となった。前年同期比 103.1%と前年をやや上回った一方、構成比 16.6%で第 2 位の『日本のアニメーション (TV・OVA)』は同 72.6%と大幅に下回った。構成比 6.1%で第 3 位の『日本の TV ドラマ』は前年並みの 100.0%となり、構成比 5.4%で第 4 位の『劇場版 日本のアニメーション』は同 91.2%とやや下回る結果となった。

<添付資料 表 7>

5. DVD ビデオの販売用をジャンル別に見てみると、『音楽 (邦楽)』が構成比 54.7%で第 1 位となった。前年同期比は 79.7%と前年同期を大きく下回っている。また、構成比 10.9%で第 2 位の『日本の TV ドラマ』も同 74.6%と前年同期を大きく下回る結果となった。構成比 7.4%で第 3 位の『日本のアニメーション (TV・OVA)』が同 76.4%、構成比 7.0%で第 4 位の『邦画 (TV ドラマを除く)』は前年同期比 76.5%と前年同期を大きく下回る結果となった。

<添付資料 表 7>

6. レンタル店用全体の総売上金額における DVD ビデオとブルーレイの構成比は、57.2 対 42.8 となり、DVD ビデオが全体の半分を占めているが、前年同期と比べブルーレイの構成比が大幅に拡大した。DVD ビデオのレンタル店用の売上金額が 13 億 3,700 万円で前年同期比 66.0%、ブルーレイは 10 億 100 万円で同 268.4%と、ブルーレイが前年同期を大きく上回る結果となった。

<添付資料 表 5B>

7. レンタル店用全体の売上金額をジャンル別にみると『日本のアニメーション (TV・OVA)』が構成比 42.2%で第 1 位となった。(日本のアニメ合計では構成比 44.6%となり、前年同期比は 116.3%と前年を上回っている。) 構成比 24.9%で第 2 位の『邦画 (TV ドラマを除く)』が前年同期比 124.6%、構成比 8.7%で第 3 位の『洋画 (TV ドラマを除く)』が同 115.0%と、それぞれ前年同期を上回った。この上位 3 ジャンルで、レンタル店用全体の 7 割を占めている。一方、構成比 8.5%で第 4 位の『アジア(*)の TV ドラマ』

は前年同期比 49.2%と前年同期を大きく下回る結果となった。

＜添付資料 表 8＞

8. 売上金額を売上数量で割って求めた 1 枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオ及びブルーレイの「販売用」の平均単価は DVD ビデオで 3,977 円、ブルーレイで 6,966 円となった。DVD ビデオは前年同期比でやや下落した一方、ブルーレイはほぼ前年並みの水準を維持した。また、「レンタル店用」の平均単価は DVD ビデオで 1,100 円、ブルーレイで 2,858 円となり、DVD ビデオはやや下落した一方、ブルーレイは前年同期を上回る結果となった。

＜添付資料 表 6＞

以 上

追記

＜本統計調査報告についての注意点＞

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD とブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- ブルーレイの売上には Ultra HD ブルーレイの売上を含む。
- 「特殊ルート」とは、雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるものの売上のこと。